

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今月も暑い日が続いたため、飲料などが好調であった。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・7月に引き続き猛暑の影響から、気分やスタイルが変えられるサンダル、サマーバッグ、帽子、サングラスなどの売上が前年の5割増しとなった。水着は1シーズンで1着買えばいいということから、7月ほどの勢いはなかった。総体的に夏商品は好調に推移した。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・今月はオリンピックのテレビ観戦時の食材として、チャーシューめんなどがよく売れた。また、ビールの販売量が増加し、発泡酒を上回った。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・従来は前年比10～15%減となっていた売上がほぼ前年並みになってきた。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・新車が発売されて以来、好調な推移を見せている。また、福井豪雨の影響で新車、中古車の販売台数が増加し、サービス部門でも修理車の入庫が増えている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・福井豪雨により、多くのボランティアや報道関係者が訪れ、この輸送のため売上が増加した。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・携帯電話の販売台数が純増ペースで増加している。
		競輪場（職員）	単価の動き	・来場者の1人当たり売上単価が上昇している。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・特に若い客が住宅取得に対して意欲的である。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・暑さが続いたことや、商店街からの退店が多いことから、活気のない状態が続いている。
		一般小売店〔鮮魚〕（店長）	単価の動き	・単品単価が消費税の総額表示実施以来低下する一方で、なかなか上げることができない。来客数や買上点数は変わらないが、売上は前年を下回っている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・夏物セールの立ち上がりがあったため、現在は息切れの状態である。来客数の落ち込みは見られないが、商品に新鮮さがなくなることから売上が伸びない。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・食品部門では来客数が前年を上回るか横ばいの状態であるが、買上点数が下回っているため客単価が低下している。
		スーパー（営業担当）	単価の動き	・消費税の総額表示が始まった4月以降、野菜や魚類の単価は下がったままで、上げにくい状態が続いている。
		スーパー（副店長）	単価の動き	・猛暑のため、食品、飲料を中心に夏物の売上は好調に推移した。
		コンビニ（経営者）	それ以外	・非常に暑い日が続いたため、飲料、アイス、ビール、発泡酒などが非常に好調であった。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・8月に入ってからカラーテレビの売行きが鈍ってきた。特に薄型テレビの価格競争が激しく、中旬以降は値下げを待つ客の買い控えが多くみられた。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・オリンピック効果で、デジタル家電が非常に多く売れたため、客単価がアップした。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・月の前半はエアコンとオリンピック観戦のテレビの販売で売上は伸びたが、お盆が過ぎてからこの動きも止まり、月全体では前年並みである。
乗用車販売店（経理担当）	お客様の様子	・新しい高級車や小型車は比較的好評であるが、既販車は全く伸びず、総体的には変わらない。		
乗用車販売店（経理担当）	単価の動き	・販売単価が前年比で大幅に低下している。その分販売量は若干増えているが、全体の売上はあまり伸びていない。		
住関連専門店（店員）	販売量の動き	・オリンピック効果を狙い、オーディオボード、ソファなどホームシアター特集を企画したが、家電に見られるような盛り上がりはなかった。		
その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	競争相手の様子	・岐阜や京都など北陸以外の他府県からの参入が始まり、売場競争が熾烈である。		
高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・猛暑の影響で、飲料とステーキ店の売上は例年に比べて良い。ただし、オリンピックのせい、夜の来客数が例年に比べ10%程度下回っている。		

		スナック（経営者）	来客数の動き	・昨年もやや悪かったが、今年はそれより5%も悪化している。客の長期のお盆休みとオリンピックの影響で、開店休業の日が4、5日あった。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・レストランの来客数減少と客室販売数の伸び悩みにより、3か月前と比べて大きな減収となった。
		タクシー運転手	来客数の動き	・猛暑のため、夜の繁華街では今まで以上に人出が多かった。しかし、午前から夕方にかけては、流しの仕事でも待機場所でも、客はほとんどいない状態であった。
		タクシー運転手	販売量の動き	・オリンピック期間中は早く帰宅する人が多いため、夜の客は見られなかった。 ・一時に比べてビジネス客が増えている。 ・長距離客では値引き交渉が活発で、料金が下がっている。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・イベントへの来場者数が以前に比べて増加した。受注量も見込める状態である。
やや悪くなっている		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・8月に入ってからも猛暑が続く、50歳以上の高齢者層の来客数が少なかった。特にオリンピック期間中は影響を受けた。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・猛暑の影響で、一部に良い部門もあるが、全体としては3か月前と比較して売上が落ちている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・猛暑やオリンピック放映などの影響もあり、来客数は前年同月比で5%超の減少となっている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・7月前半は売上が好調であったが、7月後半から8月にかけては福井豪雨と猛暑の影響で客足が遠のいた。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・近隣にライバル店が開店してから来客数が減少し、また2か月前に近隣のスーパーが酒の免許を取得したため酒の売上が減少している。この影響はしばらく続く。
企業動向関連	良くなっている	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・工場建設、改修工事向けとみられる配管部材が好調な売行きをみせている。
	やや良くなっている	食料品製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・今までは100円セールなどの特売商品がよく見受けられたが、最近では多少値段の高い付加価値商品が受け入れられる状態になってきた。
	変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・価格面でも非常に厳しい状況である。
		化学工業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・取引の引き合いが多くなってきているが、相変わらず低価格を要求されるため、成約に至らないケースが多い。
		一般機械器具製造業（経営者）	それ以外	・先月、先々月に比べて引き合い件数、引き合い金額、受注ともに若干低調になっている。ただし、前年比ではいずれも堅調である。
		電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が増えるに伴いコストダウンの要求が強くなっているが、最近では受注量自体が一服し、価格は下がるものの受注量は変わらないという状態である。
		建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・土木工事は官庁、民間ともに発注量が大幅に減少している。建築工事は見積り依頼が増加しているものの、価格競争は依然として熾烈な状況が続いている。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・取引先では受注量に持ち直しの動きが見られるが、価格は依然として低下傾向にある。
		司法書士	取引先の様子	・従業員持株会、私募債、確認会社など、諸制度の活用が見られるが、一方で解散、事業廃止という会社も多い。
	やや悪くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前に比べて手持ち工事が不足し、現場に人が余り気味である。
	輸送業（配車担当）	それ以外	・お盆前後の物量が前年に比べて極端に落ちている。	
悪くなっている	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・物件に対する問い合わせが全くない。	
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・前月に引き続き、派遣社員の要請件数、職業紹介の依頼件数が増加基調にある。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人広告受注件数が前年同月比150%となり、特に正社員の募集が増加している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・8月の求人広告は前年同月に比べ約2割増となっている。

	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・パートタイムを除く有効求人が23か月連続で前年を上回っている。また、求職件数も増加傾向にある。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・アルミ関連や電子機器関連の求人が増加傾向にある。また、技術系の設計者や薬品分析、品質管理の人材が不足している。
変わらない	学校〔大学〕 （就職担当）	採用者数の動き	・企業の採用活動が長期化している。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-